

<b>〔科目名〕</b> 韓国語会話	<b>〔単位数〕</b> 2単位	<b>〔科目区分〕</b> アカデミック・コモン・ベーシックス
<b>〔担当者〕</b> リー ヘ キョン 李 恵 慶	<b>〔オフィス・アワー〕</b> <b>時間:</b> <b>場所:</b>	
<b>〔科目の概要〕</b> <p>韓国語入門の履修者、または同等のレベルの人を対象にした授業です。入門で学んだ基礎文法をしっかりと固めながら、日常会話に必要な表現文型の幅を広げ、初中級レベルのコミュニケーション能力を身につけることが第一のねらいです。</p> <p>同じ語順をもつ韓国語と日本語は、特別に発想の転換を求められることなく理解できることから、初級のレベルであれば、言葉を入れ替えるだけですぐに会話を楽しむことができます。そのため、授業では、日常生活の様々な会話の場面のなかで基礎となる語彙、文法、文型を繰り返し練習し、自然に会話のなかで使えるようにします。</p> <p>授業は基本的に以下の授業スケジュール通りに沿って進めていきますが、他にMVや映画、新聞、ブログ等、様々な資料もできるだけ多く取り入れる予定です(受講生の希望や要望などにより変更になる場合があります)。韓国の文化や社会に触れられることで、韓国語をもっと身近に感じ、楽しみながら学ぶことができます。</p>		
<b>〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつか〕</b> <p>日本と韓国は歴史的・文化的・地政学的に最も近い隣国として、これまで様々な形で交流を深めてきました。あらゆる分野においてグローバル化が進行している今日、日韓の関係は今後より一層広範かつ緊密なものになると予想されます。そのなかでお互いを深く理解し、信頼関係を築いていくことは何より重要で、相手の言葉を学ぶことはその最も効果的方法になります。なぜなら、人間の文化や社会を根本で支えるものが言語である以上、外国語を理解することはその国を理解し、人々の思考と文化を理解することに他ならないからです。</p> <p>とりわけ、日本人にとって韓国語は外国語のなかで最も習得しやすい言葉とされています。そのため、学んですぐに楽しむことができ、旅行や友達づくり、K-Pop等を通じて自分の世界を広げることができます。また、上達するのも早いので、レベル・アップを図れば将来、日韓の橋渡し役を担う人材として大いに活躍することも可能です。外国語を学ぶことが苦手な人はぜひ韓国語にチャレンジしてみてください。日本語と同じ文法構造をもつ韓国語を学ぶことで、苦手意識が克服できるかもしれません。</p>		
<b>〔科目の到達目標(最終目標・中間目標)〕</b> <p>本科目の最終目標は初級レベルの日常会話に必要な語彙と基礎表現を身につけると同時に、韓国語の背景にある朝鮮半島の文化や歴史・社会への興味を高めることです。具体的な中間目標としては以下の4つが挙げられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>② 日常生活の様々な会話の場面のなかで基礎となる文法や表現を身につける</li> <li>② 日常会話に必要な語彙と文型を覚え、表現のバリエーションを増やす</li> <li>③ 「聞く」「話す」を中心に韓国語コミュニケーションを楽しむ</li> <li>④ 韓国語から韓国・朝鮮半島の文化や社会への理解を深める</li> </ol>		
<b>〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕</b> <p>韓国語入門に比べ、難易度が上がるため、授業は丁寧かつゆっくり進めていく予定です。ただ、文法より会話に重点が置かれている授業ですので、積極的な参加が求められます。また、語学の学習において単語の暗記は必要不可欠ですので、毎回新しい単語をしっかりと覚えるようにしてください。</p>		

<p><b>〔教科書〕</b> 特になし(必要に応じてプリントを配布します)</p>	
<p><b>〔指定図書〕</b> 必要に応じて講義中に示します。</p>	
<p><b>〔参考書〕</b> 必要に応じて講義中に示します。</p>	
<p><b>〔前提科目〕</b> 韓国語入門 ただ韓国語の読み・書きができ、韓国語入門履修と同等のレベルが認められた場合はその限りではありません。</p>	
<p><b>〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等)</b></p> <p>評価は出席および授業への参加度・貢献度40%、授業中に提示した課題(ミニレポート)10%、期末試験(プレゼンテーション)50%から総合的に行います。ただ、単位取得には上記の出席・課題・期末試験がすべて揃うことが前提条件となります。</p>	
<p><b>〔評価の基準及びスケール〕</b></p> <p>A:80点～100点 B:70点～79点 C:60点～69点 D:50点～59点 F:50点以下</p>	
<p><b>〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕</b></p> <p>遅刻・欠席はしないで、必ず単語を覚えて復習を行ってください。また、授業についての質問や要望等があったら遠慮せず申し出てください。韓国語はもちろん、韓国の文化や社会に関心のある人、大歓迎です。</p>	
<p>授業スケジュール</p>	
第1回	<p>テーマ(何を学ぶか): オリエンテーション 内 容:授業について概観し、今後のスケジュール等について確認する</p> <p>教科書・指定図書</p>
第2回	<p>テーマ(何を学ぶか): 復習① 内 容:時制のおさらいと練習</p> <p>教科書・指定図書 特になし</p>
第3回	<p>テーマ(何を学ぶか): 復習② 内 容:願望の表現と会話練習</p> <p>教科書・指定図書 『基礎から学ぶ韓国語講座 初級』第17課</p>
第4回	<p>テーマ(何を学ぶか): 復習③ 内 容:可能と不可能の表現と会話練習</p> <p>教科書・指定図書 『基礎から学ぶ韓国語講座 初級』第16課</p>
第5回	<p>テーマ(何を学ぶか): 推量・意志・未来の表現 内 容:推量・意志・未来を表わす表現と練習</p> <p>教科書・指定図書 『基礎から学ぶ韓国語講座 初級』第20課</p>

第6回	<p>テーマ(何を学ぶか): 発展学習——会話を楽しもう①</p> <p>内 容: 並列と理由・順序の表現(～て)と不規則用言</p> <p>教科書・指定図書 プリント資料</p>
第7回	<p>テーマ(何を学ぶか): 発展学習——会話を楽しもう②</p> <p>内 容: 理由・発見の表現(～したので、～してから)と不規則用言</p> <p>教科書・指定図書 プリント資料</p>
第8回	<p>テーマ(何を学ぶか): 異文化コミュニケーション①</p> <p>内 容: 韓国映画を楽しむ</p> <p>教科書・指定図書 なし</p>
第9回	<p>テーマ(何を学ぶか): 異文化コミュニケーション</p> <p>内 容: 韓国映画を楽しみ、議論する</p> <p>教科書・指定図書 なし</p>
第10回	<p>テーマ(何を学ぶか): 発展学習——会話を楽しもう③</p> <p>内 容: 目的表現(～しに)</p> <p>教科書・指定図書 プリント資料</p>
第11回	<p>テーマ(何を学ぶか): 発展学習——会話を楽しもう④</p> <p>内 容: 計画・意図の表現(～しようと)</p> <p>教科書・指定図書 プリント資料</p>
第12回	<p>テーマ(何を学ぶか): 発展学習——会話を楽しもう⑤</p> <p>内 容: 状況・比較・対照／期待外れの表現(～したけど、～したのに)</p> <p>教科書・指定図書 プリント資料</p>
第13回	<p>テーマ(何を学ぶか): 発展学習——会話を楽しもう⑥</p> <p>内 容: 経験表現(～したことがある／ない)</p> <p>教科書・指定図書 プリント資料</p>
第14回	<p>テーマ(何を学ぶか): 発展学習——会話を楽しもう⑦</p> <p>内 容: 状況の変化・受け身表現(～になる、～くなる、～(ら)れる)</p> <p>教科書・指定図書 プリント資料</p>
第15回	<p>テーマ(何を学ぶか): 発展学習——会話を楽しもう⑧</p> <p>内 容: 能力表現(～することができる／できない)</p> <p>教科書・指定図書 プリント資料</p>
試験	<p>プレゼンテーション(場合によっては筆記試験を実施する)</p>

\*授業スケジュールや授業内容等は受講者の人数やレベル等によって変更になる場合がある。